

ホットグリップ 5S FC

適応車種

商品NO.

Φ22.2
ハンドル用61626 (ブラック/レッド)
67966 (ブラック/ブラック)

■ご使用前に必ずご確認ください■

※本商品のご使用前に最終項に記載の URL（保証規定）より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。

※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容の全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。

※本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡しください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。	 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 高温注意	表記の注意を告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
---	---------------------	---	-------------------------	---	----------------	--	---------------------

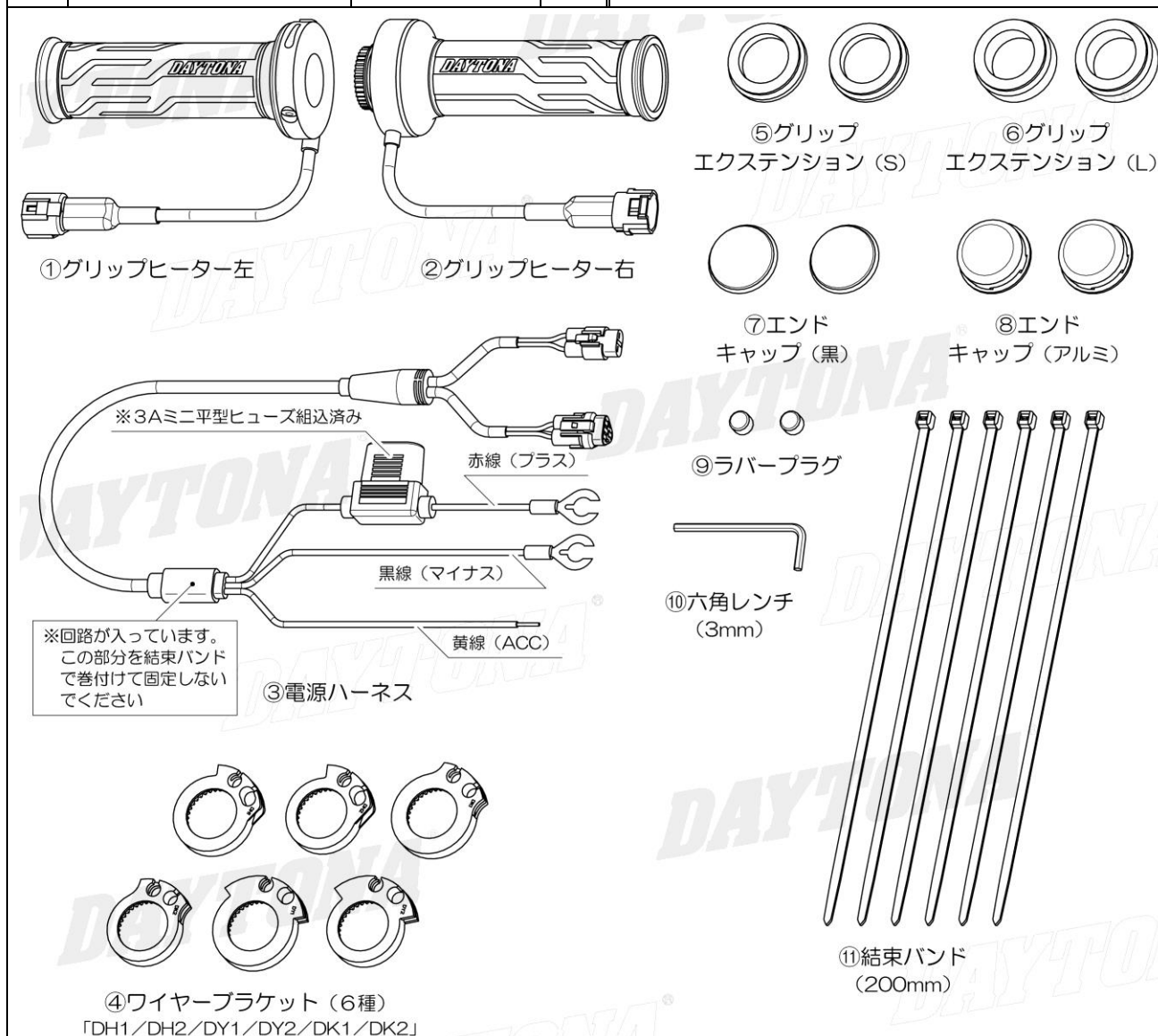
 警告	要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。
 禁止	・本商品は直流 12V のワイヤスロットル車専用です。交流電源車やバッテリーレス車、6V、電子スロットル車への取り付けはできません。 ・本商品は、Φ22.2 ハンドル用です。Φ25.4（1 インチ）の車両へは取り付けできません。 ・本商品を分解したり、切削などの加工を行なったりしないでください。本商品の破損だけでなく、車両側の破損や事故につながる恐れがあります。 ・EFI（インジェクション）車は、12V の電源が確保できても、車両診断コネクタへ本商品を取り付けしないでください。 ・取り付け作業を行なう場合は、濡れた手で作業をしないでください。濡れた手で作業をした場合、感電する恐れがあります。
 実施	・走行前に異常がないか各部の点検を行なってください。グリップにキズや亀裂、剥がれ、破れが見られる場合は、ケガや破損の原因となるため使用を中止して、新品に交換してください。 ・本商品のグリップは消耗品です。グリップ表面にキズ、亀裂、内部ヒーターの露出が見られる場合は使用を中止してください。またグリップを新品に交換してください。 ・本商品の取り付け後は、バッテリーの端子にゆるみがないことを必ず確認してください。また端子への接続が、必ず面で接触していることを確認し、異物の噛み込みで浮いていないことを確認してください。 ・走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は、商品の使用または車両の走行を中止し、販売店へご相談してください。

 注意	要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
 実施	・商品取り扱いの際は保護手袋を着用するなどケガには十分に注意して作業を行なってください。 ・本商品を開梱する際は、構成部品の不足や外観の不具合、異常がないことを必ず確認してください。万一、不具合などにお気づきの場合は、ご使用前にお買い求めの販売店へ速やかにご相談ください。 ・車両へ取り付けの前に、本商品の通電確認を行ない、グリップが温まり、正常に動作することを必ず確認してください。 ・作業は周囲の安全を確保し、車両の転倒やケガに十分注意して作業を行なってください。 ・取り付けは各作業に適した工具をご使用ください。不適切な工具を使用すると部品の破損やケガをする可能性があります。 ・ボルトやナットの締め付けはトルクレンチを使用し、所定トルクまたはサービスマニュアルで指示されたトルクで確実に締め付けてください。 ・配線ミスによるショート防止のため、作業に入る前に必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。 ・車両に装備されたメーカーオプション品用の電源コネクタを使用する際は、必ず検電を行ない、ACC オン時に 12V が出力されていることを確認してください。車両によっては 5V 出力のものや、アイドリング時と走行時で出力電圧が変化するものがあります。 ・EFI（インジェクション）車やイモビライザー装着車、各灯火類に LED が純正採用されている車両などへの配線には特に注意してください。 ・EFI（インジェクション）車では、コンピューターで電力の制御をしている車両がありホットグリップに限らず電力供給に関して過電流があると電力カットする車両があります。電力制限のない配線を確認して接続してください。 ・定期的にグリップの取付状態の点検を行なってください。ホットグリップの熱影響、接着剤の経年変化、脱脂不足、汚れ落不足などにより接着が不十分な場合、グリップが抜ける可能性があります。 ・Φ30 以上のバーエンドを使用する場合、接着剤不要の取り付けが可能です。また付属のエンドキャップやΦ22.2 ハンドル径同等のバーエンドを使用する場合は、左側のみ接着剤を併用してください。 ・本商品はメインキーに連動して ON/OFF 作動しますが、セル始動時にバッテリー電圧が著しく低下すると、電源がオフになったり、正常に動作しない場合があります。セル始動が困難となる車両につきましては、エンジン始動後にスイッチ操作で本商品を起動してください。 ・本商品のスイッチ操作は電源投入時のみ可能です。また、本商品は電源投入時に操作したスイッチの ON/OFF の状態を保持します。そのため、スイッチが ON の状態で車体側の電源を OFF にすると、次の起動時も ON の状態で動作し、車体側の電源と連動して動作します。車体側の電源と連動させない場合は、スイッチを OFF にしてから車体側の電源を OFF にしてください。 ・イモビライザー装着車は、キーシリンダー周りへの配索にご注意ください。イモビライザーの誤作動やコンピューターの故障原因となります。 ・電熱商品は通常の電装部品に比べて多くの電力を消費します。発電能力が低い車両やバッテリー容量が小さい車両、劣化したバッテリーではバッテリー上がりを起こしやすくなります。こまめにバッテリーの充電を行なってください。またストップ&ゴーを繰り返す乗り方もバッテリー上がりを起こしやすくなる原因となります。ご注意ください。

 注意	要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
 実施	・バッテリー容量が小さい車両や 125CC クラス、ならびにアイドリングストップ装備車では、温度レベル 3（グリーン）まででご使用ください。レベル4以上で使用した場合、バッテリー上がりの原因となるおそれがあります。 ・取り付け後に約 100km 走行しましたら各部を必ず点検整備し、必要に応じてネジの増し締めを行なってください。その後は約 500km 毎に同様の作業を行なってください。
 高温注意	・長時間の使用により、低温ヤケドする可能性があります。目安として 30 分に 1 回程度のスイッチ OFF にして、ご使用ください。また冬の厚手のグローブでも低温ヤケドの危険がありますので、ご注意ください。
 その他	・商品保証は本商品のみが対象になります。また、本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの補償は一切お受けできません。 ・本書に記載の温度表記は、一定の環境下で測定した温度になります。使用環境によっては、表記温度から変わる場合があります。 ・車種によっては、スロットルが全開にならない場合があります。 ・製品の正常作動環境温度は「-20℃～50℃」です。 ・本商品は車体側の電源供給が 11.5V 以下または 17V 以上になると異常を検知し、作動を停止します。保護機能が働くと、スイッチは OFF の状態になり、メインキー連動は切れた状態になります。 ・本商品、または本書でご紹介した商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	グリップヒーター左		1	⑦	エンドキャップ (黒)		2
②	グリップヒーター右		1	⑧	エンドキャップ (アルミ)		2
③	電源ハーネス		1	⑨	ラバープラグ		2
④	ワイヤーブラケット	※6 種類	6	⑩	六角レンチ	3mm	1
⑤	グリップエクステンション (S)	t=5mm	2	⑪	結束バンド	L=200mm	6
⑥	グリップエクステンション (L)	t=10mm	2				



■ワイヤーブラケット適合情報（品番 61626）



品番:61626

■ワイヤーブラケット適合情報（品番 67966）



品番:67966

取付方法

【作業前の注意事項】

- ・純正部品の取り外しや取り付けについては、各メーカー発行のサービスマニュアルに従い、正しく行なってください。
- ・作業を始める前に周囲の安全を確保し、車両を安定させた状態で転倒やケガなどに十分注意して作業してください。

O1. 操作方法

- ・本商品の操作方は、スイッチで ON/OFF する方法と、メインキー連動で ON/OFF する方法の 2 通りがあります。
- ・図 1 と図 2 を参考に、どちらかの方でご利用ください。

※セル始動が困難な車両は、図 1 の方法でエンジン始動後にスイッチの ON/OFF 操作で本商品の起動や停止を行なってください。

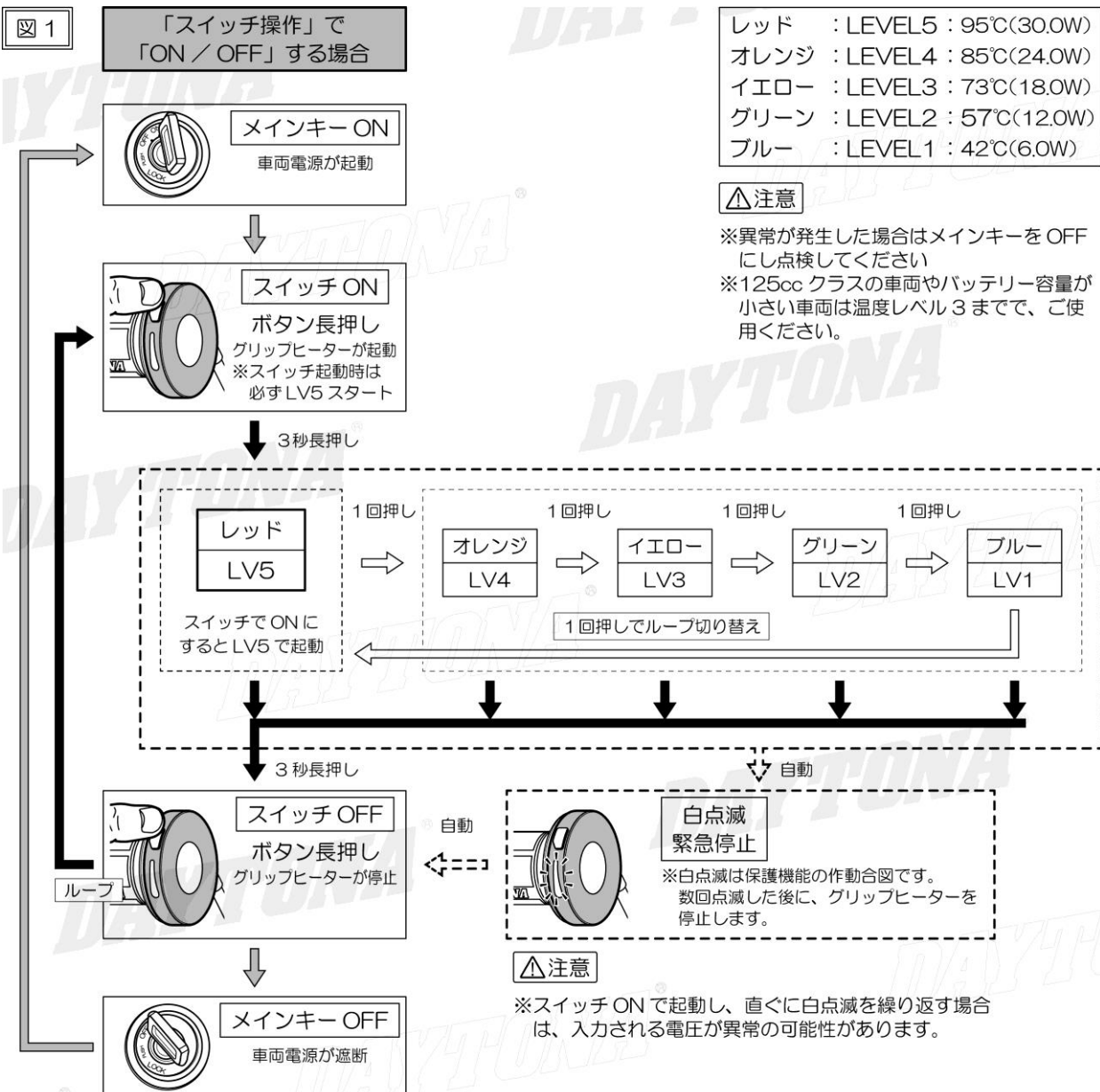
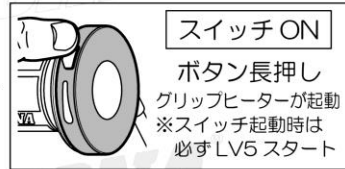
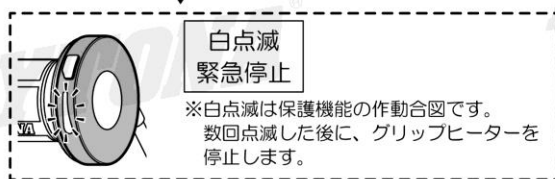
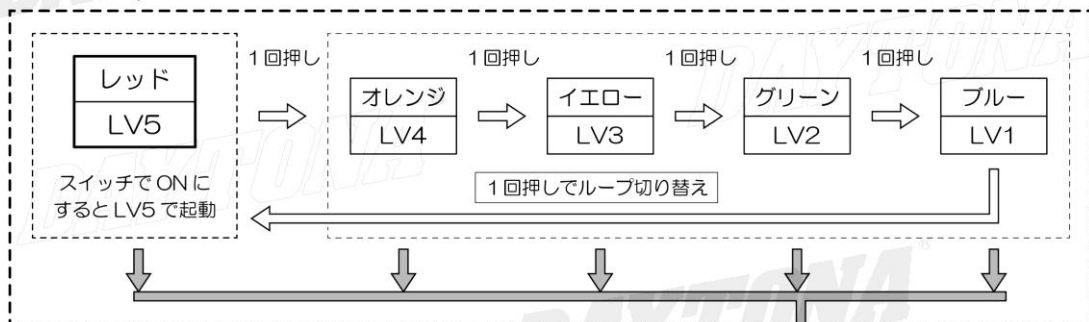


図 2

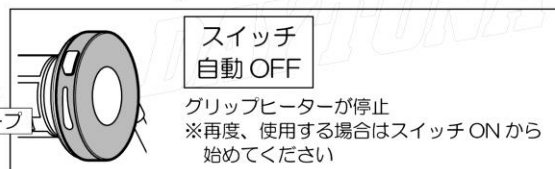
「メインキー連動」で
「ON / OFF」する場合



3秒長押し



自動



△注意

※スイッチ ON で起動し、直ぐに白点減を繰り返す場合は、入力される電圧が異常の可能性があります。

レッド : LEVEL5 : 95℃(30.0W)
オレンジ : LEVEL4 : 85℃(24.0W)
イエロー : LEVEL3 : 73℃(18.0W)
グリーン : LEVEL2 : 57℃(12.0W)
ブルー : LEVEL1 : 42℃(6.0W)

△注意

※異常が発生した場合はメインキーを OFF にし点検してください

※125cc クラスの車両やバッテリー容量が小さい車両は温度レベル 3 までで、ご使用ください。



直前まで使用していた
温度レベルを記憶



前回設定した
温度レベルの LED が点灯

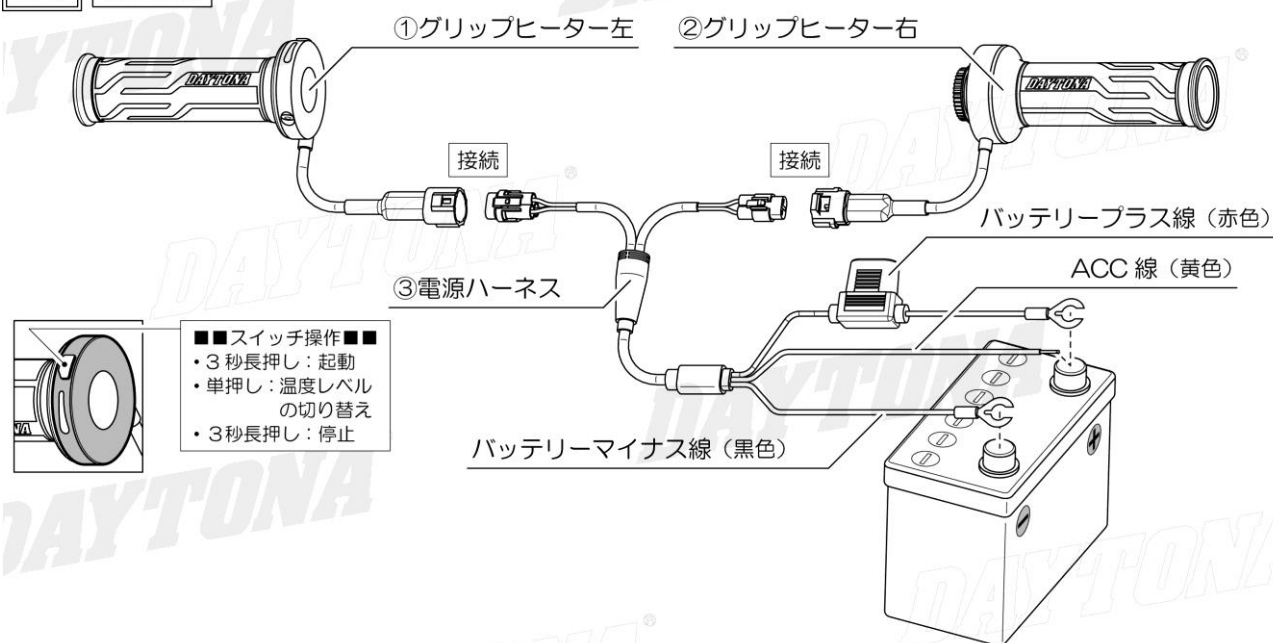


※1…前回の温度レベルの LED 色が点灯します。
急速暖房中を表す LED の表示はありません。

02. 動作確認

- ・図 3 参考に、①グリップヒーター左と②グリップヒーター右を③電源ハーネスに接続します。
- ・③電源ハーネスの赤線と黄線をバッテリーのプラスへ接続します。
- ・③電源ハーネスの黒線をバッテリーのマイナスへ接続します。
- ・手順 01 を参考に、グリップヒーターが正常に動作することを点検してください。

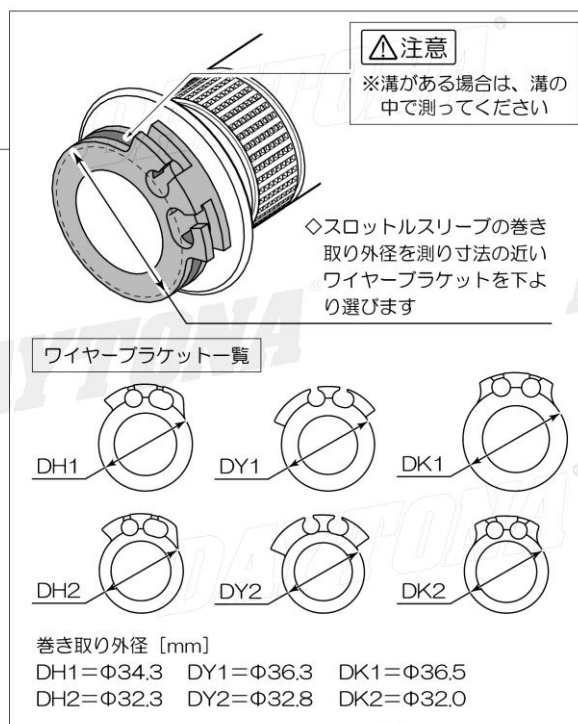
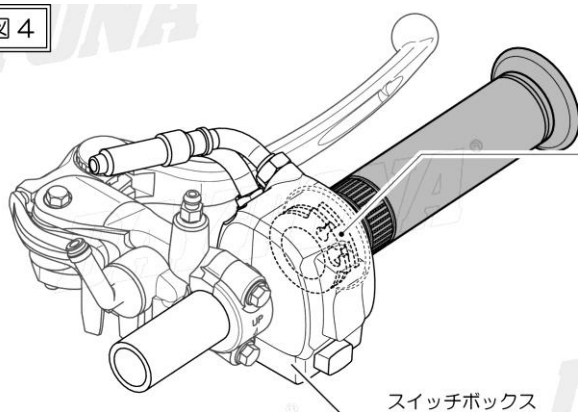
図 3 動作確認



03. ワイヤブラケットの選択

- ・右側のスイッチボックスとスロットルワイヤーを外し、スロットルスリーブを取り外します。
- ・図 4 参考に、スロットルスリーブのワイヤー巻き取り外径を測ります。
※溝がある場合は、溝の中を測定してください。
- ・測定した巻き取り外径に近い④ワイヤブラケットを選びます。
※選択したワイヤブラケットの「巻き取り外径+φ1」以上離れた寸法の場合は使用しないでください。

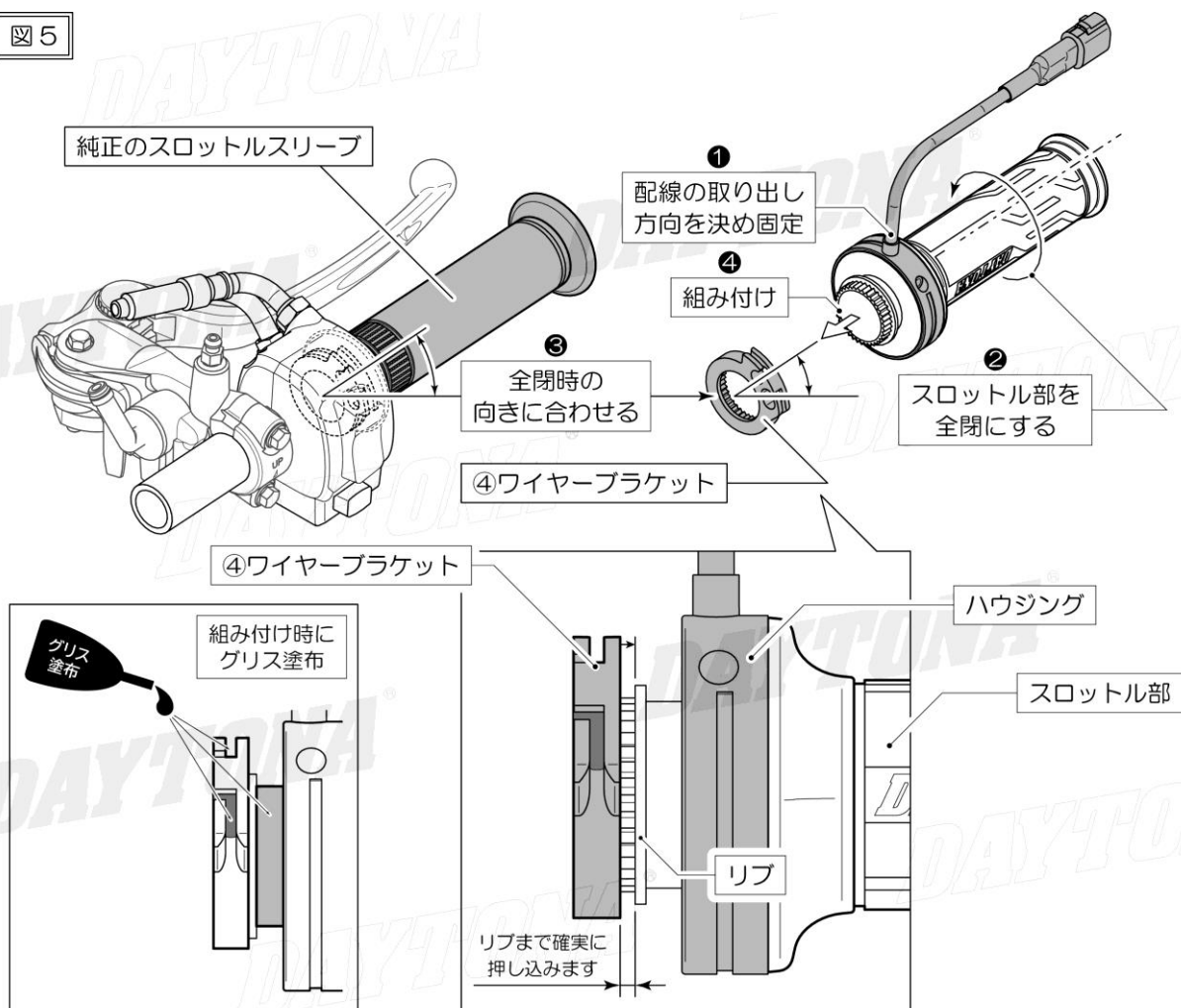
図 4



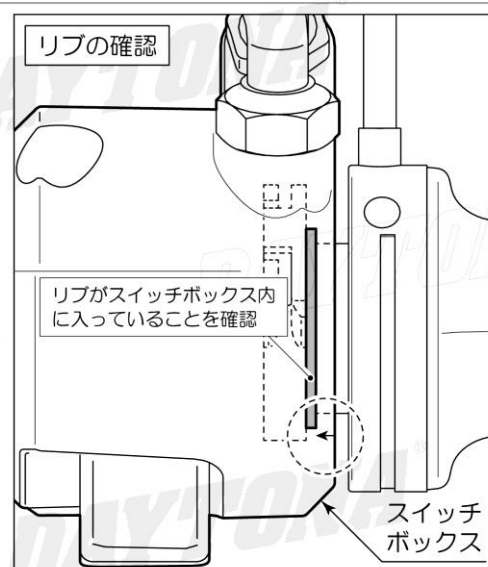
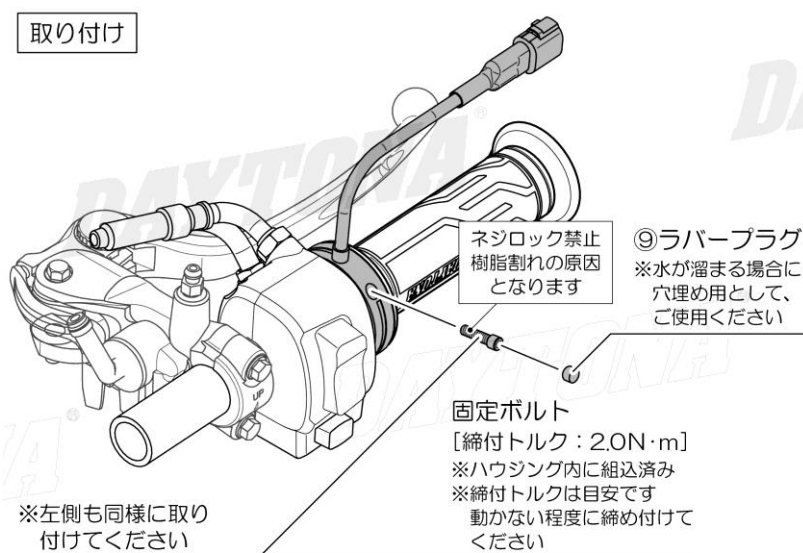
O4. グリップヒーターの取り付け

- ・図5 参考に、車体に取り付けた際の②グリップヒーター右の配線の取り出し方向を決め、その向きでハウジングを保持し、スロットル部を全閉状態にします。
- ・④ワイヤーブラケットの向きを、純正のスロットルスリーブが全閉の時と同じ向きに合わせます。
- ・上記の状態を保持しながら、②グリップヒーター右と④ワイヤーブラケットを組み合わせます。
※④ワイヤーブラケットは奥まで隙間がないように差し込んでください。また取り外す際はマイナスドライバーで、こじると樹脂部が破損します。ご注意ください。
- ・組み立てたグリップヒーターを取り付けます。この時、最初に決めた配線の向きや、④ワイヤーブラケットの向きが、ずれていると、スロットルが全開、または全閉にならない場合があります。
※グリップヒーターには、スロットルの開閉可動範囲があります。そのため組み付け時の向きが、ずれることで純正のスイッチボックスのスロットルの開閉可動範囲から外れてしまい、起きる症状です。①～④の組み付け手順は、その範囲を調整するための手順になります。
- ・取り付けた②グリップヒーター右のリブ部がスイッチボックス内に入っていることを確認します。
※リブはグリップヒーター（右）の抜け止めストッパーになっております。

図5



取り付け

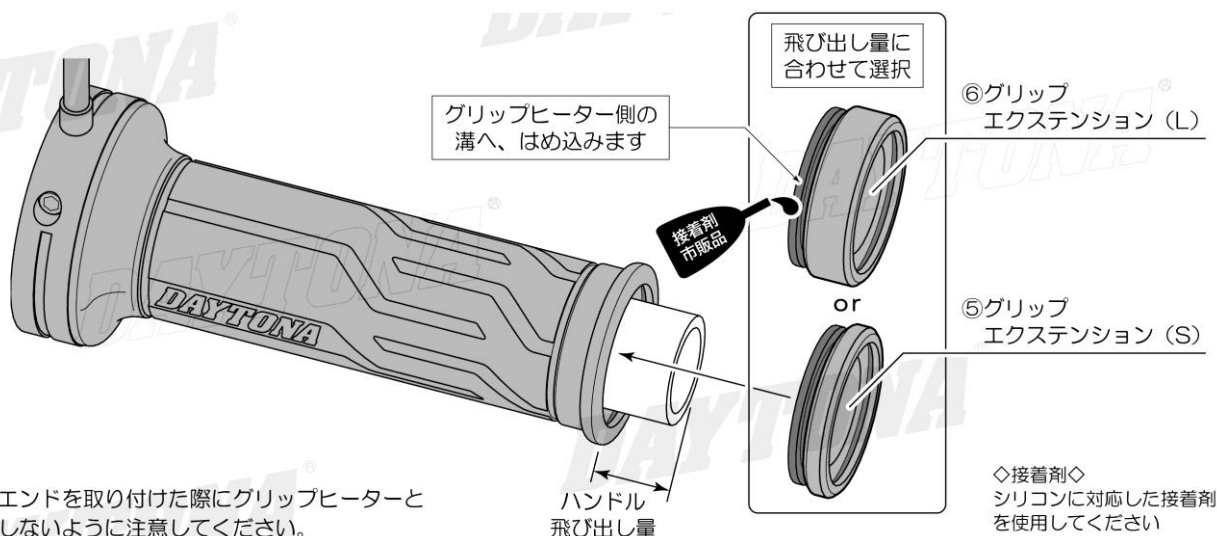


05. グリップエクステンションの取り付け

- ・図 6 参考に、グリップヒーターからハンドルの飛び出し量に合わせて⑤グリップエクステンション (S)、または⑥グリップエクステンション (L) を選択し、グリップヒーターへ取り付けます。

※ハンドルの飛び出し量が適切な長さの場合やグリップヒーターの内側に来る場合は、取り付けは不要です。

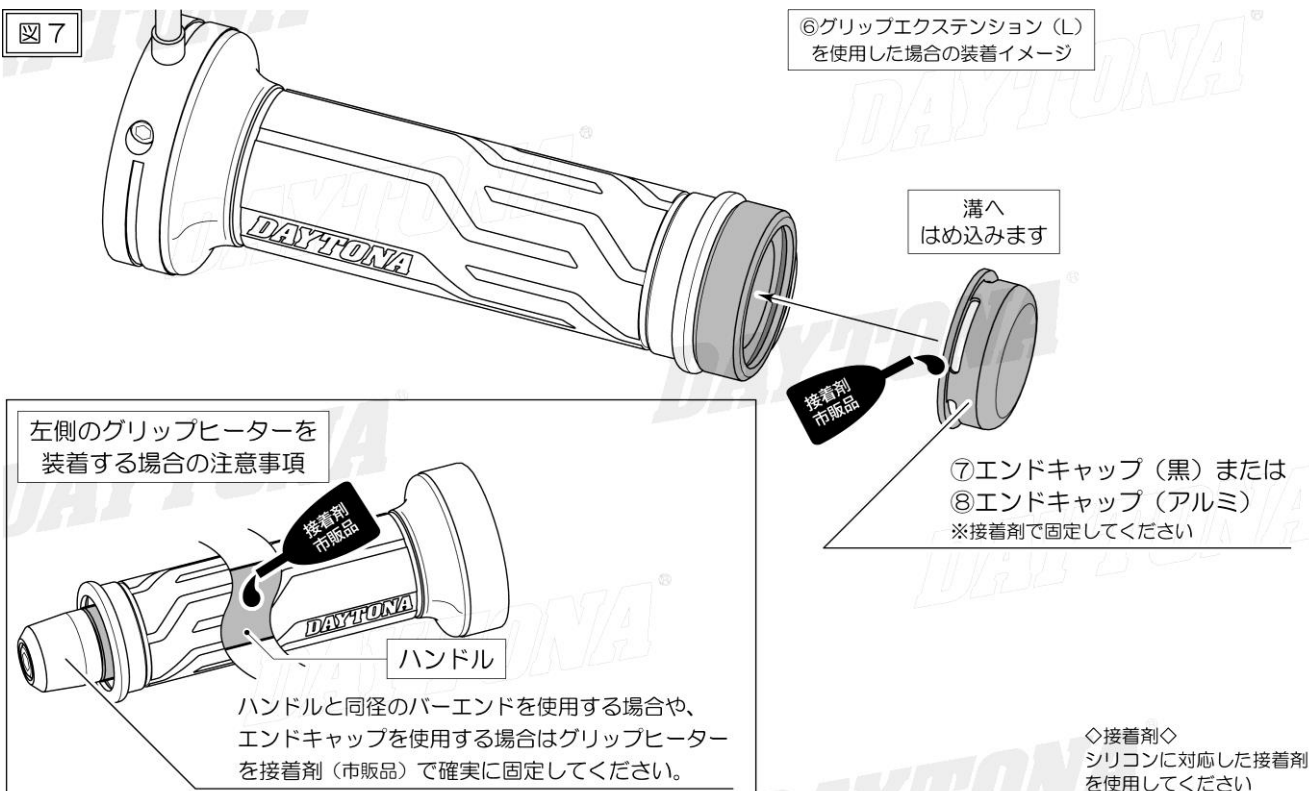
図 6



06. エンドキャップの取り付ける場合

- ・図 7 参考に、⑦エンドキャップ (黒) または⑧エンドキャップ (アルミ) を取り付けます。
- ※左側にエンドキャップを取り付ける場合は、抜け止め防止のため、シリコンと金属を接着できる接着剤 (市販品) を使用し、確実に固定してください。また、ハンドル径と同等の太さのバーエンドを取り付ける場合も、接着剤を使用して確実に固定してください。
- ・グリップヒーターの外径と同等以上のバーエンドを取り付ける場合は、グリップキャップを取り付ける必要はありません。

図 7



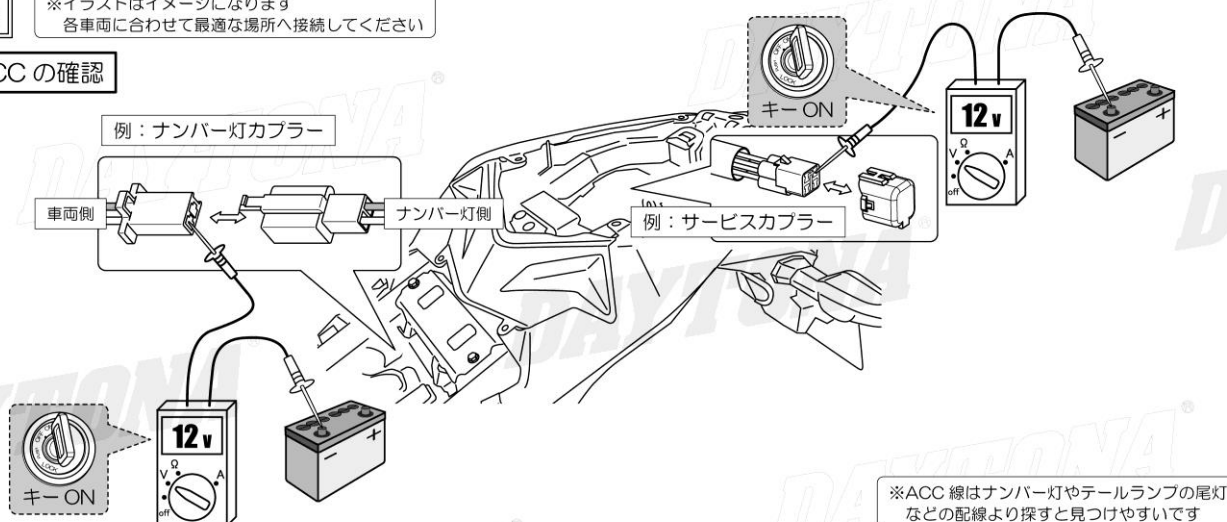
07. 電源ハーネスの接続

- ・図8を参考に、テスターを使用して車両側のACC配線を探します。
- ・③電源ハーネスの黄線を先に確認した車両側のACCの配線へ、配線加工などを行なって接続します。
※延長用のハーネスは別途ご用意ください。また別売の「D-UNIT」などを使用して、ACCを取り出すことも可能です。
- ・③電源ハーネスの赤線をバッテリーのプラスへ接続し、黒線をバッテリーのマイナスに接続します。
- ・①グリップヒーター左と②グリップヒーター右を③電源ハーネスに接続します。

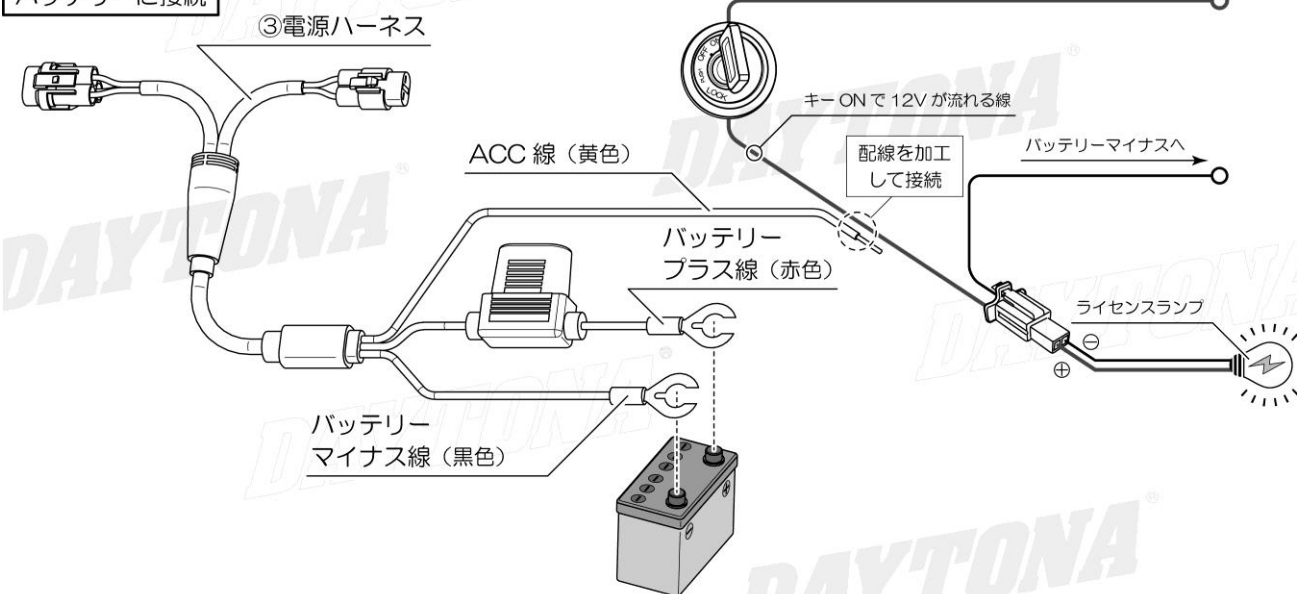
図8

※イラストはイメージになります
各車両に合わせて最適な場所へ接続してください

①ACCの確認



②ACCとバッテリーに接続



08. 点検作業

- ・本商品や灯火類が正常に動作することを確認してください。
- ・ハンドルを左右に全開に動かし、配線が無理に引っ張られたり、挟まれてつぶされていないか確認してください。
- ・各部を再度点検して、異常がなければ作業は終了です。

■商品保証について

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

1. 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。

2. 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面(レシートなど)が必要となります。

※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限ります。個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。

3. 下記のアドレス(またはQRコード)より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。

デイトナ保証規定

<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>

※保証を受けるご連絡を以って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。



■保証修理の受付について

お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。

インターネットお問合せ

<https://www.daytona.co.jp/contact/index.php>



株式会社 **デイトナ**
東証スタンダード上場

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

転載 本取扱説明書の内容の一部、
禁止 または全ての無断転載を禁止

<https://www.daytona.co.jp>